

議会報告会実施報告書

開催日時	令和元年5月11日 午前10:00～午前11:30	開催会場	下恵土地区センター
出席議員	澤野 伸、伊藤 壽、野呂和久、高木将延、川合敏己、板津博之 山根一男、山田喜弘、中村 悟、勝野正規、可児慶志、大平伸二		
班長	大平伸二		
参加者数	19名		
実施内容	平成31年度予算審査報告と(テーマ)災害への備え		
質疑および 主な意見等	<p><1グループ> 報告者 野呂議員 記録者 高木議員</p> <p>質問1: 高齢者生きがい推進事業において80歳以上の方への訪問頻度はどの様に考えているのか。独居の方が増えてきている中、出来る限りこまめに訪問して欲しい。</p> <p>回答1: 訪問は年1回程度と聞いている。民生委員だけでなく、専門的な知識を持った職員も訪問するので、注意深く見守る事が出来ると思っている。</p> <p>質問2: ゴミ集積場の管理に苦労している。自治会加入者は概ねルールを守って出されているが、未加入、他地区の方が出すゴミがひどい。未分別ゴミ、未シール粗大ゴミは回収されず、役員が持ち帰りケガのリスクもある。再分別処理をしている。集積場に出たゴミはすべて収集してほしい。</p> <p>回答2: 指定ゴミ袋で出されていれば、他地区、未加入者の方でも規制は出来ない。ゴミ集積場管理は自治会管理でお願いしている、囲い等の設置補助制度もあるので活用して下さい。</p> <p>質問3: 引っ越しシーズンは不適切ゴミが増える、事業所ゴミが出ている時もある。戸別収集は出来ないか。</p> <p>回答3: 本市では戸別収集は行っていない。</p> <p>質問4: 市の財政は健全か、箱物と言われる施設建設はあるか。</p> <p>回答4: 29年度決算をみても健全と言える。マーノは完成し、次の大きな事業は土田多目的広場整備があるが、多くの市民が利用出来る様、ソフト事業充実を提案していく。</p> <p>質問5: 可児駅前はどうなるのか。</p> <p>回答5: 駅前ロータリーが今年完成予定。</p> <p>質問6: 国道248号4車線化工事がされているが、徳野から南の橋が2車線では渋滞をするのでは?</p> <p>回答6: 市の事業ではないのではっきり回答はできないが、4車線になると聞いている。</p> <p>質問7: 「すぐメールかに」を推進しているが、高齢者はスマホを持っていない、アプリを使えない方が多い。別の手段はないか?</p> <p>回答7: 先日の協議会でも高齢者への情報発信は検討する必要があると意見がでた。</p> <p>質問8: 災害時、各地区集会場はどの様な位置付けか? 避難者への連絡、物資供給はされるか? 自治会長の役割内であるなら、引受時に相当な覚悟</p>		

がいる。市の指針やマニュアルが欲しい。

回答 8 : 大規模災害時、地区センターや学校施設等が避難所となるが、避難所運営は避難者で願います。車中泊避難者や地域集会所へ避難も想定し、平時から地域で話合うことが大切だと思う。

質問 9 : 今年の避難訓練は何かやるのか？

回答 9 : 前年の下恵土地区では実際の救助犬を見てもらった。一つでも何か役に立つことを取り入れられるといいと思う。

質問 10 : 通学路、歩道など色分けだけで、ガードレール、縁石等で仕切られていない箇所が多い。大津市の交通事故をみると市内にも危険な交差点がある。

回答 10 : 危険と思われる箇所があれば市窓口、議員に相談して欲しい。

< 2グループ > 報告者 川合議員 記録者 板津議員

質問 1 : 高校生議会や子育て世代による意見交換会で出た意見は議会としてどの様に取り扱っているのか。

回答 1 : 議会報告会と同時に、議会ホームページ（議会のトビラWEB）で公開予定で現在取りまとめを行っている。また、政策提言に活かせる意見については、常任委員会へ申し送ることになっている。

質問 2 : 平成 30 年度から国民健康保険が広域化され何か変わるのか？

回答 2 : 今まで市町村が保険者で国保制度を担っていたが、新たな制度は都道府県が保険者となって担っていきます。被保険者にとっては制度的に大きな変更点はない。

その他意見

- ・私の自治会では、自治会入会にすると非常持出袋を支給してる。災害時には持ち出せるようにしている。

- ・自治会費の額は地域で違うが、入会金や会費が高いことが加入率低下につながっているのではないか。

- ・年齢が 80 歳を超えると毎月の自治会費が 200 円減額される自治会もある。

- ・うちの自治会は、自治会が防災委員会（自主防災組織）も担っている。災害時は安否確認など情報伝達ができるように組織され、防災倉庫の備蓄品等は市の補助を受け購入管理しているが、集会所維持管理などの費用を考えると年々自治会負担が増えている。

- ・自治会未加入世帯のゴミ管理は自治会が担うのではなく、行政責任でやってもらいたい。可児市と名古屋市は財政規模が違うが、戸別回収してもらえる。

- ・長坂団地は役 1400 世帯の自治会であるが、近年は組長、班長の負担軽減の為自治会主催イベントを極力減らしている。

- ・防災意識は自治会内でも立地条件等によって温度差があり、高齢者の場合、指定避難所までの距離が遠いと移動困難で、指定避難所場所を身近な場所にしてほしい。

- ・防災は、自助、共助、公助と言われるが、近年では住民の防災意識が変

わってきている。(自助)自分は何をしたら、(共助)自治会は何をするのか(公助)行政は何をしてしてくれるかを明確に地域防災計画に反映して欲しい。

<3グループ> 報告者 山根議員 記録者 山田議員

質問1:蘇南中学校の大規模化をどう考えているか。今渡北、南、両小学校共児童数が増加傾向だが。

回答1:現在、学校区の変更予定は考えていない。2020年度以降、仮設校舎を含め大規模改造等に対応する。

質問2:自治会加入について

回答2:市は自治会加入促進検討委員会を積極的に支援するとしている。議会として注視していく。

質問3:可児駅東の整備はどうか。駅前の駐車場はどうするのか。多治見市のように30分無料の駐車場を作ってはどうか。

回答3:送迎用に、時間は未定だが無料の駐車場を作る。

質問4:大河ドラマ館の入場料は必要か。

回答4:花フェスタ記念公園、ドラマ館ともに入場料が必要である。

質問5:恵那市は、NHK朝ドラ「半分青い」でTVを上手に使った。可児は、知名度が低いのではないか、大河ドラマについて周知されていない。しっかりPRしてほしい。市民から盛り上がるのが大事であり、行政だけでは駄目である。

回答5:しっかりと推進するように伝える。

質問6:防災行政無線が聞きづらい。

回答6:防災安全課に伝えます。

質問7「すぐメールかに」の登録者数は。

回答7:一万人超が登録している。

質問8:防災行政無線の電話で確認サービスは知っている。今はCTKでも確認している。

回答8「すぐメールかに」の登録に、ご協力をお願いします。

質問9:防災ラジオを各家庭に安価で配布してほしい。まずは、希望者だけでもやってほしい。

回答9:防災安全課に伝えます。

質問10:市道14号線の街路樹伐採で、倒木の危険性は無くなったし見通しも良くなりメンテも無くなった。一方、自然環境、景観を踏まえると伐採しない方が良かったとの声もあるので、市民の意見を聞いてから行うといいのではないか。

回答10:考え方により両論がある。

その他意見

・下恵土地区は、地震以外災害が無い地域と多くの住民が思っている、油断しているのではないか。

・新築物件が多く倒壊被害は少ないと予想され、防災対策は向こう三軒両隣や近所でいかに助け合うか、非常品はお互いに備え日頃から近所付き合

いが大切である。

・災害時、地区センターに避難するより近くの安全な所で過ごしたい。高齢者には下恵土地区センターは高台で困難である。

・火災放送が無くなったがどうか、今のところ困り感はないが、火災場所を知らずにすんでいる。それが良いのかどうかは別問題で、再検討が必要ではないか。

・地域のつながりが弱体化している。

< 4グループ > 報告者 勝野議員 記録者 中村議員

質問1：地方交付税は何に使われていますか。

回答1：用途の制約は無いので、一般会計全般に使われています。

質問2：防災無線の火災放送が4月より無くなり、代替え策で携帯、スマホに「すぐメールかに」や「FMらら」等の登録を進めているが、高齢者は携帯を持っていない方や取扱えない方も多い。代替え策を含め、今後の情報伝達計画を明確にしてほしい。

回答2：緊急性を考えると防災無線は必要だろう。議会の中でも再検討の意見も出ている。

質問3：災害時、まず「水」確保が最重要になる。飲み水は市販品で確保されるが、日常生活水（トイレ、洗濯など）に困る為、井戸水の活用は考えられないか。避難所に井戸を掘ってはどうか。

回答3：春里地区では、自治連合会で井戸水の飲料水検査を実施したことがあるが結果、飲料水としては使用できなかった。

その他意見

・防災リーダー養成や地域防災組織等の立ち上げ当初は懸命に取り組むが、その後の対応が無い。防災リーダーや地域防災組織等中身のある活動が必要です。

・可児市の防災への取組みに危機感がないのでは。

・2016年12月に議会が行った熊本地震視察報告で発表された受援力の必要性、コミュニケーションの重要性など発表されたが、その後どの様な対策が取られていますか。

・自治会未加入市民にも有為な人材がいる。その様な人材を活用しないのは市も損失である。

・自分の自治会は3分の1が何らかの役員で、役職が多く若い世代が加入しないと思う。どうしたらいいのか悩んでいる。

・自治会未加入の子ども会長に自治会としてお願いしていかなければならない場合も出ている。

・民生委員は自治会員以外の対象者も多く苦慮している。

・アパート（集合住宅）住民には管理会社まかせでなくオーナーの活用を考えては。

・小規模アパートで、家主が業者を通じ自治会費を支払っているケースもある。

・市は自治会に、民生委員の選出を頼ることは理解するが、自治会未加入

者について抜本的な方策を考えるべき。

- ・以前東京に住んでいたが、都市部はどうか知りたい。
- ・ゴミ問題が一番困っている、自治会員は概ねルールを守っているが、未加入者や外国籍の方々がルールを守らない。未回収ゴミを自治会長が処理している。市のゴミ問題として考えてほしい。市の責任で最終処理して欲しい。

<5グループ> 説明者 可児議員 記録者 大平議員

『平成31年度予算審査報告』につて、質疑は出なかった。

【テーマ、災害への備え】

質問1：下恵土地区は多くの住民が災害そのものを身近な問題と自覚が少ない。

回答1：災害は風水害だけではなく地震も含まれ、身近な問題として「自助、共助、公助」の役割等を共通認識を持って頂きたい。

質問2：下恵土地区は災害が少ない地域と認識している方が多く、防災訓練の必要性を問う声もある。

回答2：災害は様々な状況が想定されます。災害時、自治会での対応や個々の対応など認識を持って頂きたい。防災訓練は重要な取り組みだと認識をして続けて頂きたい。ご理解願います。

質問3：地区の防災訓練は自主防災組織も兼ねている自治会主体で行う。自治会員には周知できるが、自治会未加入者（外国籍世帯、集合住宅世帯）になかなか周知出来ない。どのような対策があるか？

回答3：自治会未加入者への周知について、市は広報紙や広報無線等で案内をしているが、周知徹底はなかなか出来ていない。今後の課題である。未加入世帯で子供さんがいる家庭には学校を通じ周知する方法も効果的ではないか。

質問4：他地区の防災訓練ではどのような訓練をされているか。良い事例があれば今後の訓練に取り入れていきたい。

回答4：桜ヶ丘地区では、災害時の安否確認をするため、各家庭で安否確認が出来た時、玄関先に旗を出しお互いの確認ができる様な取り組みをしている。

質問5：高齢者世帯が多くなり自治会の行事や活動に参加できないやメリットが無いなどの理由で、退会者がでていく。ゴミ集積場所では管理は自治会でやっているが、未加入者も利用でき管理する側に不公平感も少なくない、加入率が向上すれば有る程度、不公平感も緩和されると思うが、市は自治会加入促進にどのような取り組みをしているのか。

回答5：転入者には市民窓口で転入手続きの際に、自治会加入案内やゴミの出し方分別方法、情報入手方法（すぐメールか）の案内ペーパーはだしている。加入率の高い地区と低い地区ではゴミ問題等の格差がでていく。自治会は地域共生の根幹組織ですので、今後ともご理解と認識を高めて頂く必要がある。

質問6：下恵土地区は4か所の公園が有るが、どこも手狭な公園で利用し

	づらいとの声がある。市は総合会館分室を廃止して解体後一時駐車場としているが、跡地利用で公園整備を要望したい。 回答6：市民の意見としてお聞きした。
--	--

令和元年5月17日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 下恵土地区センター会場：班長：大平：伸二